

令和5年（2023）6月16日～6月21日

令和5年度（2023）

第2回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

令和5年度（2023）第2回出雲市議会（定例会） 一般質問通告一覧表 目次

6月16日（金） 10:00 開会			6月19日（月） 10:00 開会			6月20日（火） 10:00 開会			6月21日（水） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	福島孝雄	3	1	湯浅啓史	10	1	今岡久人	16	1	本田一勇	23
2	川上幸博	4	2	鐘推義憲	11	2	玉木満	17	2	吉井安見	24
3	大谷良治	5	3	南浩二	12	3	後藤由美	18 ～ 19			
4	高橋扶治夫	6	4	伊藤繁満	13	4	大場利信	20			
5	福田実	7	5	児玉俊雄	14	5	板倉一郎	21			
6	石橋広信	8	6	湯浅万里子	15	6	錦織稔	22			
7	木佐宏	9									

質問者	20 福島孝雄
質問事項・質問内容	
(1) 带状疱疹ワクチン接種費用助成について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 年間の带状疱疹患者数の動向 ② 带状疱疹ワクチン接種費用 ③ 带状疱疹ワクチン接種可能な施設数 ④ 自己負担での带状疱疹ワクチン接種の動向 ⑤ 带状疱疹ワクチン接種費用を補助している自治体数 ⑥ 2分の1補助の場合の市の負担額 ⑦ 国、県に対する接種費用補助の要望状況 	
(2) 市立図書館のデジタル化について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 市立図書館のデジタル化の状況 ② 電子書籍の普及促進への課題（メリット・デメリット） ③ G I G Aスクール構想での図書館の利用と将来展望 ④ 電子書籍を導入する場合の経費 ⑤ デジタル化に向けての将来展望 	

質問者	28 川上幸博
質問事項・質問内容	
(1) コロナ感染症がもたらした子どもの成長について	
<ul style="list-style-type: none"> ① コロナ前からコロナ期間中における状況 <ul style="list-style-type: none"> ア 学校教育において イ 社会教育において ② アフターコロナになり、今後の方針と対応 <ul style="list-style-type: none"> ア 学校教育 イ 社会教育 ③ 今後、出雲市として、子どもたちを支える環境づくりはどのように取り組むのか <ul style="list-style-type: none"> ア 学校教育 イ 社会教育 	

質問者	16 大谷良治
質問事項・質問内容	
(1) 出雲河下港の利用促進と活性化について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 出雲河下港利活用策の見通しと展望 <ul style="list-style-type: none"> ア 出雲河下港の利活用（これまでの取組みと今後の取組み） <ul style="list-style-type: none"> a 物流など産業振興を図るための拠点港として b 地域防災拠点港として c ポートセールス等 d 艦艇広報について 	
(2) 観光振興促進とメタバースの活用について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 観光振興を図るツールとしてのメタバースの活用 <ul style="list-style-type: none"> ア これまでの事例／現在の取組み イ その他の事例等 ウ 今後の取組みと可能性について 	

質問者	7 高橋 扶治夫
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市新体育館完成に伴う周辺環境整備について	
<p>① 出雲市新体育館を拠点とした地域振興を図っていかねばなりません。そのためには多くの市民や市外の人々が来訪されることによって、スポーツと健康づくりを兼ねたスポーツツーリズムを活発化させていかねばならないと思います。ちなみにスポーツツーリズムとは、スポーツ資源と旅行や観光といったツーリズムを融合させることで、既存のスポーツ資源のほかにも地域資源がスポーツの力で観光資源となる取組みをしていくことです。北部地域はもとより出雲市全体で、出雲市新体育館の利用向上と周辺環境整備を考えていかねばならないと考えます。そこで次の3点質問します。</p> <p>ア 周辺整備として、まずは鳶ヶ巣山の登山道を、多くの市内外の人たちが安全・安心に登りやすいようにさらに整備していただきたい。同時に山頂についても、見通しを妨げている樹木の伐採等の整備をすれば、さらに眺めが広がり、出雲市指定文化財の鳶ヶ巣城跡は出雲市の絶景スポットとして、多いに観光PRできる場所になると思うが、市の見解を伺う。</p> <p>イ 出雲市として、スポーツツーリズムが活発化するように、史跡巡りのウォーキングコース等周辺整備を推し進めていただきたいと思うが、市の見解を伺う。</p> <p>ウ 大会やイベント時における出雲市新体育館北側の東林木バイパスからの進入や南側の市道鳶巣川跡線からの交通安全対策について考えを伺う。</p>	
(2) マイナンバーカードのさらなる普及促進と出雲市独自の利活用について	
<p>① マイナンバーカードは、「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」に基づき発行されるカード形態の本人確認ツールであります。マイナンバーカードは、IT技術を使って簡便かつ正確に本人確認することや行政機関等からのサービスを受けることができる上に、デジタルファーストを推進していくこれからの時代に対応したツールであると考えます。</p> <p>そこで出雲市におけるマイナンバーカードの現在の状況と今後の利活用について3点質問します。</p> <p>ア マイナンバーカードの現在の申請率と交付率、未申請者に対する今後の対応について伺う。</p> <p>イ 市役所内においてマイナンバーカードで印鑑証明書などの発行ができるマルチコピー機設置の必要性について見解を伺う。</p> <p>ウ マイナンバーカードの現在可能な活用と、今後の出雲市が予定している利活用について伺う。</p>	

質問者	3 福田 実
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市の防災体制について	
<p>① 令和3年の大雨災害を踏まえて防災体制をどのように整えたか伺います。 (各課との連携、災害通報のペーパーレス化など)</p> <p>② 現在、市の防災情報の周知方法はどのようなものがあるのか伺います。</p> <p>③ 出雲市防災情報サイトを開設されましたがどのようなものか。今後の活用を推進する策はあるのか伺います。</p> <p>④ 防災危機対策監の今日までの実績、今後担っていかれる仕事内容を伺います。</p> <p>⑤ 出雲市が現在結んでいる災害協定はどのようなものがあるか伺います。</p> <p>⑥ 市の災害時備蓄品にはどのようなものがあるか、賞味期限が切れたものはどうするのか伺います。</p> <p>⑦ 今後の避難訓練は、より一層実効性のあるものにしていくことが必要と考えますが、市の所見を伺います。</p> <p>⑧ 中学校、高校での防災用品の組み立て体験を行ってはどうか。市の所見を伺います。</p> <p>⑨ 令和3年の大雨災害では荒廃した山から倒木が大量に流れ出したことによって川が氾濫した被害が多く出ました。荒廃した山の整備を急ぐ必要があると考えますが、市の所見を伺います。</p>	

質問者	5 石橋 広信
質問事項・質問内容	
(1) コロナ「5類」移行後の販路拡大を目指す地元企業（商業系）への支援体制について	
<p>① コロナ禍期間中（令和5年4月以前）における地元企業の状況と今後の対応についてお伺いいたします。</p> <p>ア 地元企業からは出雲市に対してどのような困りごとのご相談がありましたか。</p> <p>イ それに対してどのような対応、支援をされましたか。その成果はどうでしたか。</p> <p>ウ 2018年に策定された出雲市中小企業・小規模企業振興計画の2022年までの成果（主に販路拡大、事業継承について）とそれを受けた令和5年3月からの第2期の同計画の取組内容。</p> <p>② 今後、地元企業を支えていく大きな力となる「ミライビジネスいずも」についてお伺いいたします。</p> <p>ア 合併による効果とその仕事の内容（今までとの違い）。</p> <p>イ 今後の地元企業との関わりについて。</p> <p>ウ 県外企業からお伺いした出雲市と出雲の企業に対する要望とその対応</p> <p style="margin-left: 2em;">a プロの経営者を育てるための取組みを共同で行う。（ワークショップの開催）</p> <p style="margin-left: 2em;">b 出雲フェア（国内・外）、展示会、商談会</p> <p style="margin-left: 2em;">c オーガニックセミナーの開催（オーガニック認証にこだわらない）</p> <p style="margin-left: 2em;">d 自治体イメージアップ「SDGs未来都市」、「自治体SDGsモデル事業」への取組み</p> <p>③ 地元企業を後押しする出雲市の魅力について</p> <p style="margin-left: 2em;">ア 全国市区町村魅力度ランキング（2022）38位に見る出雲市の魅力とは</p>	
(2) 出雲市におけるCOPD（慢性閉塞性肺疾患）対策について	
<p>① 平成25年度より開始された国の健康増進計画である「健康日本21（第二次）」の中で、COPDはがん、循環器疾患、糖尿病とともに”発症予防と重症化予防”が必要な疾患に挙げられ、「COPDの認知度の向上を令和4年までに80%」を目指す目標を掲げましたが、2022年12月時点での認知度は36.4%にとどまっています。</p> <p>厚生労働省は、令和5年2月に「健康日本21（第二次）」の次期プラン案（令和6年度より施行）を公表しましたが、COPD対策として、認知度の向上に加えて死亡率の減少が明記されており、早期発見・治療等の対策を講じることで、COPDの取組みは、今後より重要になってくると思います。そこで出雲市のCOPD対策についてお伺いいたします。</p> <p>ア 出雲市のCOPD患者の状況を教えてください。また、どのような課題を認識されていますでしょうか。お伺いいたします。</p> <p>イ COPDの疾患啓発について、出雲市の取組みを教えてください。</p> <p>ウ 健診の際に把握できたハイリスク者および治療中断者に対する受診勧奨は、早期受診を促す上で有効な手段だと思いますが、ご見解をお伺いいたします。</p>	

質問者	15 木 佐 宏
質問事項・質問内容	
(1) 節操を失った出雲市政その1 執務中現場へ特定業者の営業徘徊行為容認！市民を侮辱した出雲市政の恥部、長岡市政踏襲宣言・飯塚俊之市長の見解を糾す	
<p>① 先般、平成の世直し人が、某担当課で本市施策執行上の課題について協議最中、背中に無言で迫り両手で肩揉行為で接触し、誰だと問うと、「俺ぐらいしかいない」と発言有り、「邪魔だから止せ」と叱責したが、掛かる行為を止めず、立ち上り、後を振り向き様、「公務執行妨害、退去を命ずる」と怒鳴ったら、当人は「なに生意気なこと言うか、覚えとれ」と暴言を吐いて立ち去った。</p> <p>同人が平成の世直し人・議員控室へ勝手に入室していた事件もあり、前任の議会事務局長に対して、無断入室許可へ抗議した処、事務局長は木佐議員の承諾を得ているからと、言われたから入室を許可したとの事であったが、居住区域も遠いし無断入室を容認する間柄では全くない。</p> <p>庁舎内を営業行為を意図した徘徊行為を風聞していたから、相手をしたくなかったが、「十数年前から、役所へ出入りしている、古参議員の知人だ」とかなど営業マン特有のしゃべりまくりで接近して来ていた。その後も、常任委員会の傍聴に頻繁に出入り、当方の個人控室へ帰ると、事務局の了解を得ず、主より先に勝手に入室されていた事実も存在する。</p> <p>市役所とは、主権者たる市民と家族のプライバシーに関する情報を多々扱う、更には漏洩すれば個々人の人権侵害、家族崩壊をも惹起の恐れ有り、何人であれ不用意に職員の執務現場への出入りを許容してはならない。本件事件の当事者は十数年前から出入りしていると豪語していたが、庁舎内を思うがままに徘徊、その行為を看過して来た出雲市、市長や副市長は斯様な事実を知らなかったでは済まされない不祥事事件で有る。その後の情報収集で判明している。</p> <p>市長、副市長の怠慢執務、醜態市政の中で起きた事件、傲慢な営業マンの徘徊常態化、で気の弱い性格の職員は戦々恐々とした、理不尽な職場環境を長期に渡り強いられて来た事でしょう、当人の言葉を借りるなら十数年来の営業の場とか、出雲市役所はドル箱？いまさらながら逃げる術のなかった犠牲職員のストレスは極限に達していたことと推測し致します。</p> <p>島根創生丸山県政においては、職員執務中への不用意な業者の入室、名刺配布も全面禁止、飯塚俊之市長も以前にも進言していますが、長岡市政踏襲も狷介に溺れず、自らの政治理念を持ち立ち止まり不条理、懸念ある事柄は勇断改善を願う者です。</p>	

質問者	18 湯 淺 啓 史
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市の空き家対策事業の状況と考え方を問う	
<p>① 令和4年度から実施され2年目を迎えている「空き家安心サポート事業」の成果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 相談件数、相談会の状況等実績 イ NPO法人に事業を委託し市と協業することのメリット <p>② 老朽危険空き家等除却事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 制度を利用して除却された実績 イ 令和5年度より限度額を引き上げた経緯 <p>③ 特定空き家の指定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 特定空き家が指定されて行政代執行へ向けた準備がされているが、その経緯と今後の予定 イ 特定空き家に指定されなくても危険な空き家が数多く見かけられるが、市としてできることは <p>④ 「空き家対策の推進に関する特定措置法の一部を改正する法律」が国会審議中で、大きな関心事となっている</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 「管理不全空き家」「空き家等管理活用支援法人」などの情報を得ているか <p>⑤ 「U I J ターン&定住応援事業」などで行われる住宅リフォーム支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 空き家バンクへ登録された物件については、要件を緩和してリフォーム助成を受けられるようにすべきと考えるがいかがか 	
(2) 「ICT活用教育推進事業」の成果と課題を問う	
<p>① 令和4年度から実施された「ICT活用教育推進事業」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア ICT支援員を配置する目的を改めて問う イ ICT支援員の方は具体的にどのように学校と関わるのか ウ 支援員の方が行うサポートの内容はどのようなものか エ 一年ごとに請け負える企業を募集し入札を行うとのことだが、連続性やサポート品質を担保することは可能か オ 支援員によるサポートも重要だが、教員の皆さんのレベルをある水準以上に揃える必要があると考えるが、教員の皆さんを対象としたセミナーなどは行わないのか 	

質問者	6 鐘 推 義 憲
質問事項・質問内容	
(1) 本市における農業DXの取組状況及び今後の取組方針について伺う	
<p>① 社会全体でデジタルトランスフォーメーション（DX）が加速している状況を踏まえ、令和2年3月に閣議決定された『食料・農業・農村基本計画』において、「スマート農業の加速化と農業のDXの推進」を基本的な方針の一つとされました。そして、これを受けて令和3年3月に農林水産省から『農業DX構想』が公表され、「農業者の高齢化や労働力不足が進む中、2030年までにデジタル技術を活用して効率の高い営農を実行しつつ（データ駆動型農業）、消費者ニーズをデータで捉え、消費者が価値を実感できる形で農産物・食品を提供していく農業（FaaS：Farming as a Service）への変革を実現する」とこととされました。また、このような農業（FaaS）への変革の実現にあたっては、「農業現場だけでなく、農業及び食関連産業に関わる様々なプレーヤー（資材供給業者、農業経営体、農業団体、卸・物流業者、加工・食品業者、小売・外食業者、消費者、行政等）をデータで結び付けていく必要がある」とされています。</p> <p>なお現在、農業の現場においては、全国的にスマート農業の実証試験等の取組が進められていますが、デジタル技術を活用して農業を行っている農業事業者は、まだ少ない状況のようです。また、農産物の流通の効率化・自動化に関しても他の産業より遅れており、インターネット販売以外では生産者と消費者とのつながりは少なく、農業DXを活用した、消費者が求める多様なサービスを提供する農業（FaaS）は浸透していない現状にあります。</p> <p>そのような状況の中、今後、本市においても基幹産業である農業を成長させていくためには、農業DXへの取組みは重要な課題です。</p> <p>そこで、本市における農業DXの取組みの現状、取組方針等について、次の通り伺います。</p> <p>ア 農業DX構想の目的及び概要について</p> <p>イ 全国のスマート農業・デジタル駆動型農業の実践事例について</p> <p>ウ FaaSの実現に向けた、農業及び食関連産業各分野における取組状況と課題について</p> <p>エ 本市における農業分野の課題解決に向けた農業DXの取組みについて</p> <p> a スマート農業実証試験の目的と実施状況及び試験結果と評価について</p> <p> b 今後のデータ駆動型農業への取組みについて</p> <p> c みどりの食料システム戦略の推進との連携について</p> <p> d デジタル技術を活用した農業技術継承の取組みについて</p> <p> e アグリワーケーション・1日農業バイト等、農業関係人口創出への取組について</p> <p> f 農業分野における行政のデジタル化について</p> <p> g 本市における農業DXへの取組方針、導入に向けた支援方針について</p>	

質問者	2 南 浩 二
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市の観光振興について	
<p>① 出雲市の観光について現状をどのように認識し、またどのような課題が見えてきているのか伺います。</p> <p>② 出雲市内における宿泊施設の増設や新設の動きについて、把握している事案及び総合振興計画の宿泊者数の目標を達成するために新たな宿泊施設の誘致や既存施設に対しての増改築の働きかけや関連した新たな施策を構築する考えがあるのか伺います。 また、年間の交流人口1300万人と宿泊者数100万人を達成するために、閑散期（冬季）にインバウンドを推進することが一つの方策であると思いますが、誘客戦略や課題について伺います。</p> <p>③ これからの出雲市の観光産業をどのように成長させていくのか、長期ビジョンや方向性、課題、計画、目標をどのように達成していくのかなど、きちんとした成長戦略を策定した上で、計画に則って細かな施策を組み立てるべきだと思います。また、こうしたものがあることで、官民の多様な関係者との情報共有・連携強化にも繋がっていくと考えますが見解を伺います。</p>	

質問者	23 伊藤 繁 満
質問事項・質問内容	
(1) 文化財整備とまちづくり活性化の取り組みについて伺います。	
<p>① 出雲地方には、古くから数多くの文化財が残されており、市民の財産として正しい理解の下で広く市民の財産として保存、活用し後世に継承されていかなければなりません。</p> <p>出雲弥生の森博物館を核としながら多様な行事が開催されている中で、昭和59年に全国の出土数を上回る358本の銅剣が一度に発見され一躍全国の注目を集めることとなった荒神谷遺跡、東林木バイパスの発掘調査に伴い判明した青木遺跡等、出雲市内には数多くの貴重な遺跡が発掘、保存されています。今後の整備とまちづくりの一環として活性化が必要であります。以下の項目について伺います。</p> <p>ア 埋蔵文化財の遺跡出土遺物についての保存状況</p> <p>イ 斐川文化会館大ホール下に保存されている農耕民具の保存状況</p> <p>ウ 出土遺物の保存精度維持に必要な収蔵館の必要性</p> <p>エ 斐川中央工業団地（仮称）杉沢遺跡は弥生時代の竪穴住居跡が確認されているが東工区（約18ha）の活用策は工業団地の一部とするのか、文化財としての活用策とするのか、多くの人が集えるテーマパーク的なものとするのか、古代山陰道跡が確認されているルートにあり何らかの活用策の必要性</p> <p>オ 全国的にも価値のある遺跡等の文化財をネットワーク化し、観光地として整備することの必要性</p>	

質問者	12 児玉俊雄
質問事項・質問内容	
(1) 相続登記の義務化への対応について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 本市の相続登記の現況をどのように把握されているのか伺います。 ② 登記費用の一般的な算定方法等をご教示ください。 ③ 義務化が過重な負担にならないよう市で支援ができないか伺います。 	
(2) Uターン促進策について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 近年の出身者会の動向と支援の状況を伺います。 ② 今後の出身者会の組織・活動の強化に関わる考え方を伺います。 ③ 同窓会等を活用したUターン促進策を打ち出す考えはないか伺います。 	

質問者	4 湯 浅 万 里 子
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容	
(1) 子どもたちが共に学ぶ環境を整える	
<p>① 市内の小、中学校の教員が不足状況にあると聞いています。子どもたちが安心して学習できる環境にするためには、十分な教員の確保はもちろん、様々な形での支援が必要だと思いますが、以下の点について伺います。</p> <p>ア 今年度当初の市内小・中学校の教員の欠員状況について</p> <p>イ 教員の欠員に対する県・市の対応について</p> <p>ウ 全ての小学校、中学校をコミュニティ・スクール（地域学校運営理事会を設置した学校）としていますが、この役割とかかわり方を伺います。</p> <p>エ スクールヘルパー事業として、平成22年度から特別支援教育補助者が、平成24年度から特別支援介助者が配置されていますが、現在、各学校に何名配置されていて、どのように取り組まれているのか伺います。</p> <p>オ 校庭の様子も学校によってずいぶんと違っていています。何本もの木が植えてあるところから花壇の花のみのところ、芝生のところもあります。学校校務員の方の仕事内容は学校によって違いがあり、学校校務員の負担が大きいと感じる場面もありますが、そのような場合に、市としてどのように対応されるか伺います。</p>	

質問者	8 今岡久人
質問事項・質問内容	
(1) 出雲新話2030におけるまちづくり構想について	
<p>① 市内における人口の二極化対策について伺います</p> <p>ア 市内43コミセン単位で、昨年4月末と今年の4月末で比較すると、地区により増減があります。減っている地区では何か対策はあるのでしょうか</p> <p>② 「多種多様な企業立地を」と掲げてある施策について伺います</p> <p>ア 市内の工業団地の分譲率が96.7%に達する中で、斐川インターチェンジ付近に新たに工業団地が造成されます。予約状況など反応はいかがですか</p> <p>イ 県内・県外企業の事業所用地の新增設に対応する新しい工業団地を整備すると具体策に記してあります。候補地はあるのですか</p> <p>③ 今後整備されるであろう新しい工業団地は、出雲市西部地区にされてはいかがですか</p> <p>ア 人口の平準化をはじめとして、商業の活性化、令和6年度末の山陰道の開通を見据えた対応策、また、現在の国道9号や東西を結ぶ県道の渋滞対策、などを考慮すれば、斐川町を中心とする政策だけでなく、視点を変え市内全域において可能性を探ってはいかがでしょうか</p>	

質問者	10 玉 木 満
質問事項・質問内容	
(1) 大会等への出場報告にかかる市長面会について	
<p>① 市長は出雲市から、全国や世界大会に出場される方、出場された方と面会し、報告を受けられていますが、市長の面会状況について詳細に伺う。</p> <p>ア 前年度の面会状況</p> <p>イ 限られた時間、どのようなことを重要視して面会しているか</p> <p>ウ 市長との面会記念となるようなものがあるか</p>	

質問者	11 後藤由美
質問事項・質問内容	
(1) 住民を監視下に置く土地利用規制法（重要土地等調査法）について	
<p>① 国により、2023年2月1日付けで出雲駐屯地が「重要土地等調査法」による「注視区域」となり、出雲駐屯地周辺概ね1キロメートルの範囲について、土地等の利用状況を調査できることとなりました。これは、国の安全保障の観点から国が重要と考えた重要施設の周辺1キロと、国境離島を「注視区域」「特別注視区域」に指定し、利用状況を調査し、機能を阻害する行為があれば利用中止の命令・勧告を行うことができるもので、従わなければ刑事罰を科します。何が「機能阻害行為」にあたるのかは、政府の裁量次第となっています。問題は政府の判断で調査内容が際限なく広げられ、思想信条や所属団体、家族・友人関係などが調べられ、個人情報・プライバシーが侵害される危険性があることです。そこで伺います。</p> <p>ア 出雲駐屯地周辺地域の住民にこの問題を市として知らせているのか、伺います。</p> <p>イ 市民の暮らしやプライバシーが侵害される恐れがあります。市として国による住民説明会開催を求めるべきです。所見を伺います。</p>	
(2) マイナンバーカード保険証（健康保険証廃止）について	
<p>① 国は健康保険証を2024年秋に廃止して、マイナンバーカードの健康保険証利用（以下、「マイナンバーカード保険証」）を国民に強要しようとしています。しかし、マイナンバーカード保険証に別人の情報がひも付けされるという重大事態が起きるなど、あらゆるトラブルが発生しており、市民だけではなく医療機関や介護施設からも批判や不安の声が起きています。このままマイナンバーカード保険証を押しつければ、さらなる混乱が起きるのは必至です。そこで伺います。</p> <p>ア 市内でもマイナンバーカード保険証で受診した際のトラブルが発生しています。また、特別養護老人ホームなどでは、「マイナンバーカード保険証になったらどうやって管理すればいいのか。暗証番号の管理などできない」。「在宅の利用者が病院を受診する際、今でも大変なケアマネージャーがさらなる負担になる」など、あらゆる不安の声が上がっています。障がい者からは「受診する際に顔認証のエラーや暗証番号の入力も困難」との声もあり、このまま進めば、市民の命と健康に関わる重大事態も起こりかねません。市として国に「健康保険証の廃止はやめよ」と求めるべきです。所見を伺います。</p> <p>イ マイナンバーカード保険証を持たない被保険者には、保険診療を受けられる「資格確認書」を交付するとしています。有効期限は1年で自ら申請しなければなりません。市から今までどおりの保険証を発行し、国民皆保険制度を保障すべきです。所見を伺います。</p>	

(3) 「高齢者福祉タクシー事業」の要件緩和について

① 市は、バス停などが近くになく外出に不便を感じている高齢者に対して、タクシーの利用料金の一部を助成する「高齢者福祉タクシー事業」を実施しており、年間12000円分のタクシー利用券を交付しています。この事業の対象世帯は70歳以上の高齢者のみの在宅の世帯で、1. 自家用車を所有していないこと、2. 自宅から最寄りの駅、またはバス停まで500メートル以上の距離があること、3. 住民税非課税であること、3つのすべてに該当しなければなりません。この4月から中山間地域においては距離要件を緩和し、200メートル以上の距離があればいいということになりました。距離要件の緩和は一部前進ですが、この事業の要件そのものに対して「ハードルが高すぎる。もっと利用しやすい制度に」との声があがっています。そこで伺います。

ア 現在の利用状況、また、4月からの距離要件の緩和により申請件数がどれだけ伸びたのか伺います。

イ 高齢者の移動、外出、生きがいなどを保障するために、さらに使いやすい事業にする必要があり、距離要件をなくすことを求めます。所見を伺います。

質問者	22 大場利信
質問事項・質問内容	
(1) ウイズコロナの中での出雲市立総合医療センターの運営について	
<p>① 出雲市立総合医療センターは出雲市東部の拠点病院として地域医療や予防医療の推進に尽力されています。新型コロナウイルス感染症が蔓延したこの間、院内での感染症対策やコロナ患者の受入や治療を余儀なくされ、病院事業管理者をはじめ職員の方々のご労苦に敬意を表します。新型コロナウイルス感染症は5月8日に2類から5類へ移行し、病院経営も通常のスタイルに戻りつつあるのではないかと思います。新型コロナウイルス感染症の取り扱いが不透明な状況ではありますが、早く通常の診療体制に戻り、病院経営がなされることを期待しています。このような観点からいくつか質問をします。</p> <p>ア 新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行されましたが、入院や外来はコロナ禍以前の体制に戻りつつあると察しますが、現時点の所見を伺います。</p> <p>イ ウイズコロナの中、発熱外来や新型コロナウイルス感染症患者の受入病床は引き続き確保されるのか伺います。確保する場合、これらの経費に対し国は補助金を交付しますか。</p> <p>ウ 5類移行後の新型コロナウイルス感染症患者の医療に係る個人負担金について、外来、入院それぞれについて伺います。</p> <p>エ 令和5年度の出雲市病院事業会計の当初予算は、ウイズコロナの中、国や県の補助金等の取り扱いが不透明な中で編成されたものと考えますが、次の3点について伺います。</p> <p>a 予算議決後、病院事業会計に影響を与える国や県の補助金等の取り扱いの変更の有無について</p> <p>b 収益的収支が大きな赤字（▲2億6,700万円）であるが、この主な要因について</p> <p>c 原材料費や電気料金の高騰対策について</p> <p>オ 在宅医療（訪問診療）について、自宅から病院へ行く交通手段がなく、通院が困難な患者への医療の提供として好ましいものと考えます。訪問診療の内容、体制及び実績について伺います。</p> <p>カ 今年度中に「公立病院経営強化プラン」を策定される予定と聞いています。2類から5類への移行を契機に、財務諸表の好転も含め、経営の安定を期待していますが、検討状況について伺います。</p>	

質問者	27 板倉一郎
質問事項・質問内容	
(1) 保育所の待機児童対策について	
<p>① 令和5年度の国基準による待機児童は、4月1日時点で0人であったとの報告がありましたが、実態は大きくかけ離れていると考えます。待機児童の状況を伺うとともに、その対策について伺います。</p> <p>ア 議会に示された待機児童の資料では、「次の理由による者を除いた入所未決定者」が0人と説明されているが、その「理由」毎の詳しい説明と人数を伺う。</p> <p>イ 出雲市の待機児童対策について伺う。</p> <p>ウ 出産後早く職場復帰を考えたが、保育所の空きがなく断念された方がいる。仕事と家庭の両立のためにもっと力強く待機児童対策に取り組んでほしいとの声がある。市の考えを伺う。</p> <p>エ 自宅を新築により市外から移住される方に対しての保育所入所支援は、どのように考えているのか伺う。</p> <p>オ 令和5年6月1日に政府が発表した少子化対策の案のうち、保育所に係る部分について説明を伺うとともに所感を伺う。</p> <p>カ 保育士の確保対策について伺う。</p>	

質問者	13 錦 織 稔
質問事項・質問内容	
(1) 男性へのHPVワクチン接種費用助成を	
<p>① 令和4年4月から女性へのHPVワクチン接種の積極的勧奨が再開され、令和5年4月からは9価HPVワクチンが公費接種の対象となりました。現在の接種状況を伺います。</p> <p>② これまでの接種対象は主に女性であり、男性への接種は全額自己負担で、接種者は限られているという現状があります。出雲市がん撲滅対策推進条例第2条では、市の責務として、『市は、がん対策に関し、必要な支援及び実効性のある施策を実施するよう努めるものとする』とあります。がん撲滅対策を推進するうえで、男性の健康も重要な社会的課題であり、男女共に健康であることが社会全体の幸福につながると考えます。男性への接種費用を本市独自で助成すべきと考えますが見解を伺います。</p> <p>③ 市内在住の小学6年から高校1年の男性に対して、群馬県桐生市や埼玉県熊谷市の事例を参考に、接種希望者は2%相当と想定すれば、実施に必要な経費はどの程度になるか伺います。</p>	
(2) 生成A I の導入について	
<p>① 2022年11月に公開されたChatGPTをはじめとする生成AIへの関心が高まっています。業務負担の軽減や公正な公共サービスの提供など利点もあれば、情報の流失なども心配されています。導入について考えを伺います。</p> <p>ア 出雲新話2030「ともにデジタルファースト」において、『市民、事業者及び市職員のデジタル化に対する意識を高め、デジタル技術を活用する能力の向上が必要不可欠です』とあります。生成AIを導入されているのか伺います。</p> <p>イ 導入に関してのメリット、デメリット、業務の利用領域について見解を伺います。</p> <p>ウ 市民と行政の信頼関係を構築するうえで、透明性や情報提供の重要性について見解を伺います。</p>	
(3) 「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLO プラン）」を受けての不登校支援の推進について	
<p>① 各学校に保護者どうしの話し合いの場である「保護者会の設置」し、不登校の子どもの保護者を支援していくことが必要と思いますが、今後の取り組みを伺います。</p> <p>② 教室に行きづらくなった児童生徒が、校内で落ち着いて学習できる環境「スペシャルサポートルーム」等をすべての学校に設置する必要があると考えますが、現在の設置状況と今後の取り組みを伺います。</p> <p>③ 自宅や教育支援センター等での学びを、確実に学校での成績に反映させることが重要であると思いますが、現在の状況と今後の取り組みを伺います。</p>	

質問者	14 本田 一 勇
質問事項・質問内容	
(1) 職員提案制度のその後の進捗状況は	
<ul style="list-style-type: none"> ① 前回は質問しましたが、なぜ職員提案制度が作られたのか伺います。 ② 市役所職員に職員提案制度があることをどのようにお知らせ、伝えているのか伺います。 ③ 令和4年度の提案件数をお知らせください。あれば、その内容の一部を教えてください。 ④ 若手職員によるグループ提案が毎年行われていると聞いていますが、令和5年度はいかがでしょうか。 ⑤ また令和4年度の若手の提案にサウナテントを使って出雲をPRするチームがあったと記憶していますがその後の活動をお聞きします。 	

質問者	1 吉井安見
質問事項・質問内容	
(1) マイナンバーカードに関するトラブルについて	
<p>① マイナンバーカードを使用したコンビニでの証明書の発行で、別人の住民票が誤って発行される、すでに抹消されたはずの印鑑登録の証明書が交付されるなどのトラブルが全国各地の自治体で発生した。出雲市でも、システムの検査のために一時的にサービスの停止が行われた。</p> <p>ア 出雲市内では誤交付などの事案は発生していないか。</p> <p>イ 今回のサービス停止に関して出雲市としてどのような対応がとられたのか。導入しているシステムにトラブルがあれば今後も同様の対応がされるのか。</p> <p>ウ 万が一、個人情報漏えいするトラブルが発生した場合、その責任は誰にあるのか。</p>	
(2) インボイス（適格請求書）制度が市民に与える影響について	
<p>① 今年10月から始まるインボイス制度への対応に事業者が迫られている。農業分野では、産直事業を始め、営農組合の経営にも影響があるのではないかと懸念の声がある。</p> <p>ア 現場が迫られている対応を、出雲市としてつかんでいるか。</p> <p>イ インボイス制度が始まれば、肥料などの物価高騰に加えて、生産者や事業者は新たに税負担を求められ、生産・労働意欲が低下することが懸念されるが、市の認識を伺う。</p> <p>② インボイス制度の導入により、電力会社が再生エネルギー電力を固定価格で買い取る際にも影響が生まれる。資源エネルギー庁が、家庭用太陽光パネルの設置者など一般家庭を含む約50万事業者に「インボイス制度」の登録を促すはがきを郵送していた。</p> <p>ア FIT制度による買い取りの際の仕入れ税額控除ができなくなれば、電気代のさらなる値上げにつながるのではないか。市の所見を伺う。</p> <p>③ 事業者にとって負担しかないインボイス制度が及ぼす影響を市として受け止めるべきと考えるが、所見を伺う。</p>	
(3) 医療機関・福祉施設への物価高騰対策を	
<p>① 物価高騰が続く中、この6月から電気料金の大幅な引き上げが行われた。市民生活や事業者の経営にさらなる負担が及ぶことになる。</p> <p>ア 市内医療機関や福祉施設においてもエネルギー価格・光熱費の上昇が経営を圧迫しているが、市として実態をつかんでいるか。</p> <p>イ 医療・福祉分野は報酬が定められており、経費の上昇を転嫁することができない。医療機関や福祉施設においては、そのような中、職員確保のために人材紹介業者を経由して雇用を行う施設もあるが、紹介手数料の負担も経営を圧迫している。今後、これらの機関・施設の経営を守るために、どのような手立てが必要と考えているか。</p> <p>ウ 国や県に働きかけるとともに、市としても支援を行うべきと考えるが、所見を伺う。</p>	